

処置・検査・手術説明書・同意書（様式1）

患者氏名 [redacted] 様 男性 生年月日 昭和 15.10.01

1. 病 名
肝門部胆管癌による胆管閉塞

2. 現在の症状
肝機能障害

3. 処置・検査・手術の必要性・目的
肝臓の機能を改善させるため

4. 予定処置名・検査名・術式・麻酔方法
胆管ステント留置術

5. 処置・検査・手術予定日 2017.12.4

6. 処置・検査・手術に伴う合併症
肺炎・出血・穿孔・感染（肺炎・腹膜炎・胆管炎等）・腹痛・血圧低下・鎮静による呼吸状態の悪化等が起こることがあります。

7. 処置後・検査後・手術後の予測
入院・安静・欠食・点滴治療等

8. 可能な別の方法とその予後
定期的な経過観察

9. 説明に用いた補助資料

☐ 診療録 ☐ X線フィルム ☐ 内視鏡写真 ☐ 超音波写真 ☐ その他

10. 試料が採取された場合は、適切な検査の後保存し一定期間の後、病院の規定に従って処理いたします。また、院内倫理委員会の承認を得たうえで、医学研究のため使用することがあります。なお、お名前など個人を特定できる情報が一切明らかにならない形で行うこととお約束いたします。

11. 図示・その他

市立四日市病院

平成29年12月01日

説明医師名 小林 真



同意書

市立四日市病院院長

1. 私は、現在の病状及び（手術、麻酔、検査、処置、治療法）の必要性和その内容、これに伴う危険性について十分な説明を受け、理解しましたので、その実施を同意します。なお、実施中に緊急の処置を行う必要が生じた場合には、適宜処置されることについても同意します。
2. 試料が採取された場合、院内倫理委員会の承認を得たうえで、遺伝子研究などの医学研究のために私の病理検体などの試料を使用されることに同意します。なお、個人を特定されないことも理解しました。

平成 29 年 12 月 / 日

患者氏名 氏名

[Redacted patient name]

〔本人が未成年者または署名できない場合〕

保護者または

代理人氏名 氏名

(患者との続柄)

試料とは、臨床研究に用いようとする血液、組織、細胞、体液、排泄物及びこれらから抽出したDNA等の人の体の一部並びに被験者の診療情報（死者に係わるものを含む。）を言う。

院内倫理委員会とは、臨床研究実施又は継続の適否その他臨床研究に関し必要な事項について、被験者の個人の尊厳、人権の尊重その他の倫理的観点及び科学的観点から調査審議するため、臨床研究機関の長の諮問機関として置かれた合議制の機関をいう。

市立四日市病院 診療録23-1号

C 文書